

寛平、ラン!

♪
ラン!寛平、ラン!

ラン!寛平、ラン!

ラン!寛平、ラン!

ラン!寛平、ラン!

♪

今、テレビで大人気のお笑いタレント、そしてマラソンランナーの間 はさま 寛平 かんべいさんは、平成二十三年一月二十二日、大勢の人々が見守る中、アースマラソンのゴールを切りました。

世界で誰も達成していない前人未踏の「夢」が実現した瞬間でした。寛平さんはなんと、地球一周をヨットとマラソンだけで完走したのです。スタートしてから、七百六十六日目のこの快挙は、寛平さんを応援し続けた大阪の芸人仲間を始め、地元の人々、さらには日本全国の人々に大きな感動を与えました。

二〇〇八年十二月十七日、寛平さんは大阪をスタートしました。そして、六百九十一・九キロを走って、二〇〇九年一月一日、鴨川からアメリカに向けヨットで出航しました。太平洋では途中、嵐にもあいました。航海日数七十日をかけて、アメリカ西海岸ロサンゼルスに到着。三月十四日、アメリカ大陸横断ランを開始しました。ネバダ、アリゾナ、ニューメキシコ、コロラド、カンザス、ミズーリ……と走破し、七月九日、ついにニューヨーク州入りし、アメリカ大陸百十八日間、移動距離四千八百三十キロを走り抜きました。そして、七月十五日、フランスに向けニューヨークを出航しました。七月二十日、この日、寛平さんは大西洋上で六十歳の誕生日を迎えました。

八月十七日、航海日数三十五日で、フランスのル・アーヴルに到着。寛平さんは早速、陸路ユーラシア大陸を走って行きました。フランス、ベルギー、オランダ、ドイツ、そして、九月二十六日デンマーク入りしました。十月二日、



首都コペンハーゲンを出発し、チェコ、スロバキア、ハンガリー、セルビア、ブルガリア、十二月六日にはトルコと、ヨーロッパを走り抜いて行きました。そして、十二月十四日、ボスポラス海峡を渡り、アジア入りしました。十二月三十一日、ついに陸路総移動距離一〇〇〇〇キロを超えました。

ここまで走ってきて、順調そうに見える寛平さんでしたが、実は、辛い出来事が二つありました。

一つは、親友でありロック歌手の忌野清志郎いまわのきよしろうさんが亡くなったことです。再発したがんの治療中のことでした。清志郎さんは応援歌「RUN 寛平 RUN」をつくって、アースマラソンを走る寛平さんをこれまでずっと励ましてきたのです。アメリカ カンザス州、雨の中を走る寛平さんに、清志郎さんが亡くなったとの知らせが飛び込んで来たのです。前方にもたれかかるようにひざについて、大声をあげて泣く寛平さん。……やがて起きあがり、「がんばるわ……。」

さびしそうに、一言そうつぶやくと、寛平さんは泣くのをこらえ、また、雨の中を一人走り出すのでした。

『清志郎さんは、僕みたいなお笑いの人間にも友達のように本当によくしてくれた素晴らしい方でした。この地球一周の挑戦が無事成功した時に、本当に恩返しをしたかった方の一人でした。』

と寛平さんはコメントしています。

もう一つは、一〇〇〇〇キロ到達後、体に異常はないか、イスタンブールの病院で定期メディカルチェックを受けたことでした。精密検査の結果、前立腺にがんが見つかったのです。

二〇一〇年一月十四日、寛平さんはこのことを世間に発表しました。

「ひよっとしたら死ぬかなあとか、いっぱい思いました。

治しながら走れるで、ということを聞きました。もうそのときは、めっちゃめっちゃうれしかったです。」

治療をしながら走ることを医師から許可されたものの、親友をがんで失ったばかりの寛平さんの心の中は、決して穏やかではなかったでしょう。

トルコの東部では気温マイナス二十度の寒さの中を走りました。がんの放射線治療のため、一時マラソンを中断し

ますが、六月十九日、トルクメニスタンよりアースマラソンを再開。このときは、気温五十度を超える砂漠の中を走りました。マラソンはさらに過酷さを増していきました。

どうして寛平さんはこれほど厳しく辛いアースマラソンを走り続けるのでしょうか。寛平さん自身はこう語っています。「ぼくは目立ちたいというて、安易な気持ちでアースマラソンを始めました。でも、そんな気持ちやったけど、世界のいろいろな国をみて、あ、俺ってほんま幸せやなあって実感しながら走ってきました。」

ここで、一つ気になることがあります。一九九五年一月十七日、阪神淡路大震災では大勢の人々の命が失われ、建物の倒壊など莫大な被害が出ました。実は寛平さんの新築の家も倒壊したのです。現在でも仮設住宅に住む被災者の方々がいます。これまでの人々の苦しみや悲しみは、寛平さん自身が一番よく知っているでしょう。寛平さんはこの年、被災地の復興を願い、人々を元気づけるため、神戸から東京までのおよそ六〇〇キロを一週間かけて走っていたのです。

地球を一周しようというアースマラソンは、寛平さんだけしか思いつかないアイデアだったのでしょうか。でも、寛平さんが厳しさや苦しさに耐え抜いてまでも叶えたい夢は、もはや寛平さんだけのものではないのかもしれませんが。

八月二十五日、カザフスタンを経て、寛平さんは中国に入りました。そして、百二十五日間、距離にして四六〇〇キロを走り抜いて、十二月二十七日、寛平さんは中国沿岸の都市、青島に到着しました。ここで大勢の市民からの歓迎を受けました。

青島からヨットに乗って、二〇一一年一月四日、福岡に到着。実におよそ二年ぶりに日本へ再上陸を果たしたのです。



寛平、ラン

(高学年 1-(2))

(1) ねらい

かかわり合いや支え合いを意識し、夢や希望の実現に向け努力しようとする心情を育てる。

(2) 資料の特質

アースマラソンを思い立った理由、友人の死や自身の病気を乗り越えながら自分の夢に向かって走り続ける寛平さんの心情に迫りたい。寛平さんの夢の実現によって多くの人々が勇気づけられ元気づけられる様子にも触れ、夢は個人完結なものだけではなく、かかわり合うことを通して力をもつことに気づかせたい。

(3) 展開例

- 1 夢や希望を持つ意味について話し合う。
- 2 資料「寛平、ラン！」を読んで話し合う。
 - ①どんな思いから寛平さんはアースマラソンを走ろうと決心したのか。
 - ・自分の限界に挑戦したい。
 - ②自分がガンと知ったとき、寛平さんはどんなことを心の中で考えたか。
 - ・自分はもうだめかもしれない。
 - ・ここまで走ったんだ。最後まで走るぞ。
 - ③過酷なアースマラソンを走り続けた寛平さんを支えた思いとはどんな思いだろう。
 - ・自分が走ることで、みんなを勇気づけたい。
- 3 自分へのメッセージを書き発表し合う。
- 4 教師の話聞く。

○「夢には人を元気づけてたり勇気づけてたりする力がある。夢は人が生きる上で大切なものである。」という内容を話す。

(4) 指導上の留意点及び工夫

展開例3では、自分の夢について「あなたの夢で何かを変えることができるとすれば、どんなことか」を考えさせるようにする。

〔本文イラストは酒井桃華による〕